1995年11月15日

安田火災記念財団ニュース

編集発行：安田火災記念財団　〒160東京都新宿区西新宿1-26-1 Tel 03-3349-3130
（担当：熊野）

社　会　福　祉　事　業

社会福祉助成決定

今年度の社会福祉助成は、すでに4,000万円を阪神大震災被災地にあてたため、自動車購入助成1,000万円のみを公募しました。対象を自動車に限定したにもかかわらず、例年の自動車希望件数のほぼ３倍にあたる163件の応募があり、過去最高の16.3倍の競争率となりました。

10月９日に行われた選考委員会では、昨今の経済事情を考慮し、いずれも法人格のない団体ばかり10件が選ばれました。助成先は次のとおりです。

足利ひまわり共同作業所（栃木）100万円　**桶川地区精神障害者共同作業所**（埼玉）100万円　**巣立ち会**（東京）100万円　**障害者地域作業所「ワークショップ夢・21」**（神奈川）100万円　**盲人福祉研究会「ウィズ」**（静岡）100万円　**みんなの労働文化センター**（兵庫）100万円　**障害者マルチメディア作業所「ウィング」**（兵庫）100万円　**精神障害者小規模作業所「たちばな作業所」**（愛媛）100万円　**香美地区あけぼの共同作業所**（高知）100万円　**読谷村精神療養者家族会**（沖縄）100万円

会議会合等助成決定

10月９日開催の選考委員会では、会議会合等助成として日本介護福祉士会全国研修会に200万円の助成が決定しました。

今月中旬に行われるこの研修会では、ドイツのディンスラーケン市から介護施設「ウィルヘルム・ローテルマンハウス」の施設長を迎え、「介護福祉士と自立支援－21世紀の介護システムにおける役割とサービスの標準化－」と題する講演を行います。この研修会には全国から約800名が参加する予定です。

福　祉　諸　科　学　事　業

阪神大震災調査報告会開催

９月10日に安田火災本社ビル大会議室において、阪神大震災被災高齢者に対する心理学的調査の報告会「被災体験と立ち直りの軌跡」が行われ、約250名が参加しました。会場には、病院・福祉施設の職員やお年寄りの姿も多く見られました。

この調査は、筑波大学心理学系の井上勝也教授を中心とする老年行動科学研究会のメンバーが被災地に赴き、２月７日から３月31日まで、避難所と老人ホームの高齢者約330名に対して行ったものです。昨年度、当財団はこの調査に620万円を助成しています。

報告会は基調報告・調査報告・パネルディスカッションの３部で構成され、４時間近くにもおよびました。さらに10月17日、この報告会の模様と井上教授のインタビューがＴＢＳテレビのニュース番組で放映されました。現在、調査結果の出版および関西での報告会を計画中です。

公的介護保険フォーラム開催

11月６日に安田火災本社ビル大会議室において、当財団が協賛する形で「東京都社会福祉協議会フォーラム '95」が開催されました。参加者を公募したところ、急速に高齢化が進む中、平成９年度の導入にむけて検討が進められている公的介護保険がテーマとあって、施設や社会福祉協議会の職員・行政関係者ら約400名が集まりました。

第１部では「公的介護保険の提案」と題する東京大学経済学部の宮島洋教授のお話があり、第２部のフォーラム「これからの負担と供給のあり方を探る」では、淑徳大学社会学部の仲村優一教授をコーディネーターに、毎日新聞論説委員の宮武剛氏、文京区立特別養護老人ホーム施設長の柏木洋子氏、中野区社会福祉協議会事務局長の大岡平八郎氏を発題者に迎え、介護保険導入の条件やその導入が社会福祉に与える影響、これからの課題等について活発な議論が展開されました。

以　上